

中央大学学員会 第38号 49年白門会会報

発行日 2019年(令和元年)6月8日(年2回発行)
 発行人 山崎 厚太
 発行所 中央大学学員会49年白門会
 印刷所 (有)東光美術印刷

東京都港区浜松町1-24-5 第3河原ビル3階 サザンフラックス労務室

49年白門会のホームページ → <http://www.gakuinkai.com/hakumon49/>

49年のホームページから「会員の部屋」に入る際のユーザー名は49nen、パスワードはhakumonです。

49年白門会のメールアドレス → hakumon49@gakuinkai.com

会員の皆様の登録・変更をお願いします。PC、携帯でも可能です。



(題字・葛西聖司)

CONTENTS

- 1ページ
 - ★巻頭挨拶
令和元年、
新たなスタート
千葉幸嗣
- 2・3ページ
 - ★新年会レポート
 - ★箱根駅伝応援記
- 4ページ
 - ★友へのメッセージ
阿部 繁
 - ★楽苦我喜
荒井ひろ子
- 5ページ
 - ★ゴルフ会
 - ★歩こー(る)会
- 6ページ
 - ★総会のお知らせ
 - ★会費納入のお願い
 - ★事業部掲示板
 - ★原稿募集
 - ★編集後記

令和元年、新たなスタート

49年白門会事業部長 千葉 幸嗣(商)



元号が変わったら、何故か一段と歳をとったような気持ちになったのは私だけでしょうか。

私達の年代になると、令和時代を「どう生きようか」と我が人生をどう歩むか真剣に考えずにはいられません。60代後半から70歳にかけて、大半の方々が日ごと身体老化が進むと言われています。目がかすんだり、息切れがしたり、一挙に老化現象が顕著になるそうです。かくいう私も他人事と生きていきましたが、いろいろな場面で自覚症状が現れてき

ました。

「自分はどうじゃない」と思っていた私の目も、数メートル先の人の顔がぼやけたり、看板が二重にみえたりするように、現実から逃げることで済ませず白内障の手術をしました。眼科の先生から「典型的な老化現象です」と言われたときは、さすがにショックでした。

シルバー時代の生き方

この現実をきっかけにシルバー時代をどう生きようか、と遅ればせながら考える気持ちになりました。

また会社勤めをしているので日々規則正しく生活しています。通勤も執務も億劫になってきました。まさに気力、体力、知力の衰えです。すでに仕事をリタイアし、人生設計を立てて歩んでいる方もおりますが、私がリタイアしたらどんな生活

を送れるのか不安もあります。

ありがたいことに49年白門会の会員になっていることは、この先の人生の中でも一番居心地の良い場所ではないかと思っています。ビジネスや地位・職位に関係なく、しがらみを抜きにして語り合える集まりは、すばらしいステーションだと思っています。

振り返ってみると、49年卒業生のOB会立ち上げ準備会に参加してから19年の歳月が流れました。当時、仕事上の行き話まりから、なんとなく顔を出したのがきっかけでした。同じゼミだった同期が1人だけで、あとは知らない面々はばかり。

それでも49年白門会を立ち上げ、学部を問わず一生懸命になっている同期生の姿に心を打たれたことを思い出します。私は、仕事の関係で、途中5年ほど総会にも行事にも参加できませんでしたが、それでも心の隅には49年白門会の存在があり、定期的に届く会報には目を通し、友へのメッセージや会員からのエッセーを拝見し心の支えになっていました。

楽しい49会の行事

総会や新年会には創立10周年記念総会から毎年欠かさず出席しています。同期から得る同じ情報でも各々視点のちがえ方や考え方の違いがわかり、興味深く自分の勉強にもなりました。そしてレクリエーション行事ではボート大会からカラオケ大会、ビール工場巡り、復興支援スパリゾートハワイアンズ一泊旅行などに参加し、皆さんと親睦を深めることができました。その後、事業部長を拝命し今日に至っています。

あと1年後にリタイアの予定ですが、リタイア後はテイルライトの会や歩こー(る)会にも参加し、令和時代を謳歌しようと思っています。49年白門会の役員を引き受けてから、三郷白門会や在京高校同窓会、岩手県人連合会の役員の話も回ってきました。各々の団体の運営に違いがあっても、49年白門会が培ったベースを基に令和元年のスタートを切ります。

初参加のお二人



阿部繁さん



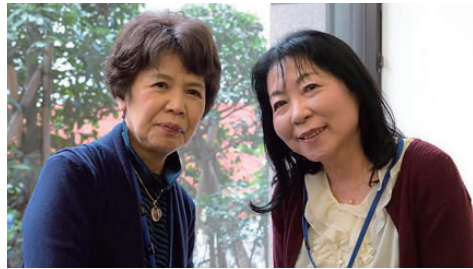
細田邦雄さん



にこにこ元気に令和に !!



最初の挨拶は山崎会長



女性参加者のお二人。井さん(左)と安室さん



締めは原幹事長



乾杯は大竹副会長



司会は千葉事業部長

参加者の皆さん(敬称略)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 阿部 繁 (文) | 笹尾憲司 (経) | 根本慎一 (文) |
| 新谷真人 (法) | 佐藤信春 (理工) | 野田光昭 (理工) |
| 有山 滋 (商) | 三溝芳春 (経) | 橋本幸一 (法) |
| 安藤正幸 (経) | 柴田 明 (理工) | 橋本美文 (経) |
| 井美知子 (経) | 杉本和久 (法) | 馬場安徳 (法) |
| 石川晶雄 (経) | 関根良一 (法) | 原 伸正 (経) |
| 岩城和裕 (理工) | 高木一成 (理工) | 菱倉義成 (商) |
| 梅田真人 (経) | 高柴富士男 (経) | 福松征男 (法) |
| 大竹力三 (法) | 高橋和幸 (法) | 藤本真也 (法) |
| 大谷洋一 (法) | 田仲正道 (法) | 細田邦雄 (法) |
| 岡部立道 (法) | 丹下照己 (経) | 益田耕二 (法) |
| 小澤秀敏 (経) | 千葉幸嗣 (商) | 松平 守 (経) |
| 加来幸昌 (法) | 照木信久 (理工) | 宮川 保 (経) |
| 加藤正治 (法) | 長澤 寛 (文) | 安室澄子 (文) |
| 木村 真 (法) | 中島章夫 (経) | 山崎厚太 (経) |
| 黒澤義己 (法) | 中山和實 (法) | 吉江信博 (商) |
| 斉藤栄一 (文) | 成毛 誠 (法) | 吉岡義典 (理工) |

盛大に平成最後の新年会

2019年 1月26日(土)

今年の正月明けは例年になく大雪や吹雪と気候が変動する中、恒例の新年会が御茶ノ水の中大記念館のレストラン「プリオール」で12時から開かれました。残念ながら出席予定の2人が直前の風邪で欠席となり、出席者は51名となりました。

千葉幸嗣事業部長の軽妙な司会で始まり、山崎厚太会長から出席者の内2名は、デイライトの会経由で阿部繁さん、ゴルフ会経由で細田邦雄さんが初参加との発表がありました。

乾杯は大竹力三副会長。今年の干支の「亥」をもじって「猪突猛進」を「猪とずつ直進」の年で健康で良い年(亥亥年)にしよう乾杯。

歓談が始まり、少し盛り上がったところで、今回の2名の初参加会員からの自己紹介。そして、デイライトの会、歩こーるの会、箱根駅伝心援会、ゴルフ会、囲碁将棋同好会のリーダーから今後の計画等についての発表がありました。退職後に時間の使い方に迷っている方も多いと思いますが、これらの行事に参加してはいかがでしょうか？

皆さん元気で食欲旺盛、用意された料理やお酒を飲みながら、仕事の将来、退職後の生活や趣味の事、病気、年金等の事で話題が盛り上がり、あっという間に時間が過ぎて行きました。

今回、女性の参加は2名でしたが、地域での交流を増やす為のイベント

が計画されますので、女性会員や新入会員も増えるのではと思われれます。

お腹も膨れたころ恒例のプレゼントのクシ引きが始まり、用意された北海道の名産品(ホタテやチキンの入ったカレー、クッキー、北海道産ワイン等)を景品として全員にプレゼントされました。

終盤は恒例の中大節・校歌・応援歌を音楽に合わせて歌い、石川晶雄さんと根本慎一さんの掛け声とパフォーマンスで全員が前の人の肩に手を置き列を作って練り歩きました。

例年は副会長の山崎司平さんが最後の締めの挨拶をするのですが、今年度は欠席のため代わりに原伸正幹事長が締めの挨拶の後、万歳三唱で締めました。

会館ロビーの階段前で恒例の記念写真。高橋和幸カメラマンの指示で並び、記念写真の撮影後お開きに。二十数名が二次会の御茶ノ水駅近くのサイゼリアへ行き、再度ビールやワイン等飲みながら色々な話題で盛り上がりました。

最近よく聞く話で、認知症対策の一つとしてコミュニケーションが重要と言われています。その為には仕事を終えた後でも、この様な人が集まるワイワイガヤガヤ騒ぎ、懐かしい学生時代の思い出、仕事や趣味での経験等幅広く話が出る49年白門会の様な場がこれからは必要ではないでしょうか？ (広報部・柴田明)



左から高橋さん、中島さん、福松さん



左から斉藤さん、細田さん、安藤さん、高柴さん



左から木村さん、細田さん、加藤さん、小澤さん



左から阿部さん、橋本(幸)さん、関根さん



左から益田さん、菱倉さん、有山さん、梅田さん、笹尾さん



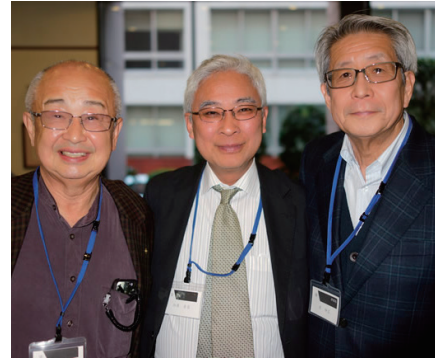
左から成毛さん、新谷さん、橋本(美)さん



左から千葉さん、山崎さん、三溝さん、照木さん、加藤さん



左から藤本さん、黒澤さん、松平さん、大谷さん



左から田仲さん、加来さん、原さん



左から中島章夫、橋本美文、新谷真人、田仲正道、大竹力三、高木一成の参加者(敬称略)

14位前後と順位を落としていることとはわかっていたので、シード権への期待は若干薄れていたが、最終10区で11〜12位を早稲田と競っているとの情報が。シード権内の10位で中

1時過ぎには道路は通行止めになり、沿道は4重5重の応援客で埋まり、今か今かと選手の到来を待っている。

最終的には6人の参加(集合場所がわからずに、応援された方もおられたかも?)。しばらくはスマホで順位を確認しながら、往路の1・2区の健闘に花が咲いた。

今年はずいぶん旗や横断幕の使用は禁止とのことで、用意した幟や横断幕を出せなかった。目印がないため応援場所がわからない人がいることを危惧し、小生と高木氏で、交差点付近を徘徊し会員を探した。

往路1区2区の大活躍に、復路でのシード権確保を期待し、ゴール地点から1キロメートル手前の常盤橋交差点に応援席を設置。

残念無念あと一歩

箱根駅伝復路応援記

会員増強委員会委員長 中島 章夫

2019年 1月3日(木)

ハードな相談から、ソフトな悩みまで
学校法人中央大学理事
弁護士 山崎 司 平
銀座ライツ法律事務所
〒104-0061 中央区銀座 3-10-9 共同ビル 6階
TEL:03-3546-0281 FAX:03-3546-0280
E-mail: yamazaki@ginza-rights.jp

で、中大の大健闘、ならびに今後の49会のイベント等について数々の意見で大いに盛り上がり、あっといふ間の2時間が過ぎ、散会した。皆さん、是非10月の立川の予選会でお会いしましょう。

友へのメッセージ

良き友 キューピー

阿部 繁(文) 神奈川県 横須賀市

「友」という言葉で思いうかぶのは、「友達、だち、親友」そして「あいつ」。舟木一夫の有名な歌「仲間達」。「リングをかじっているあいつ」、「下駄を鳴らしていたあいつ」。

そして友達の中でもこれも舟木一夫の歌ではないが「心の悩みを打ち明けああって…」の親友がいる。私の今までの人生の中で、親友は数少ないが、一番の友は「A君」渾名は「キューピー」で中学の時の友である。きつかけは彼がバスケット部に一緒に入らないかと声を掛けてきたのが最初だったような気がする。その時私は軟弱なハイキング部に入っていて、女の子達と、奥多摩で、飯ごう炊飯を楽しんでいた。

そんな中で新人戦があり、彼は活躍したが5つのファウルを犯して退場。その時の様子を、バスケット部の顧問で伝ちゃんという数学の先生が翌日の朝礼で全生徒の前で話した。みんな大喝采。運動神経抜群でとても太刀打ちできる相手ではなかった。

彼は高校受験で高校総体や国体で優勝していたT大付属の男子高に私

と一緒に入った。私はバスケットには入らなかった。何故かというところポイント特待生で全国から優秀な生徒が集められていたからだ。彼はそれを承知の上で、入部した。朝練、昼練、放課後の練習とかなりきつい練習をしていた。バスケット部の監督は竹刀を持ってまるでサーカスの様に、鍛えて生徒を人間扱いしていなかった。

彼は相当頑張ったと思う。普通の人は落ち込むところ、持ち前の負けず嫌いで、体育祭の時、1500M走で3位に入ったり、体育のN先生に指名され、全校生徒の代表で朝礼台の上でラジオ体操の模範体操をした。N先生はバレー部の監督で、いつも遠くから彼の頑張っている姿を見ていたようであり、大学でバレーをやる事を勧めていた。(N先生は第2ラジオ体操を創った人で、高校では第1の代わりについて第2をやっていた)

結局彼はT大に行かず、NT大に行きバレー部に入り、1年奴隷、2年人間、3年天皇、4年神様と言わ



キューピーも駆けつけてくれた2月に開かれたポタニカル展

れた4年間を過ごした。卒業後、中学の先生になり、50代で鬱状態になり休んだ事もあったが復帰して、定年間近迄勤めた。バレー部の顧問監督で厳しい練習で鍛え上げ、都大会には50回以上出場している。今でもこの記録は破られていない。当時は多摩地区では「青鬼」の名でその名をばせていた。多少、父母、関係者との軋轢はあったものの、生徒達への愛情のこもった教育で、生徒からは慕われていた。

今は、キューピーと同じバスケット部のI君とで年に3回ぐらい会うようになり、昨年は那須迄、彼の運転で1泊の旅をした。今年の2月に私のポタニカル展の展示会にはわざわざT市より車で3時間かけて来てくれた。感謝、感激。

私が悩んだり、落ち込んでる時にテレパシーを感じたように必ず彼から「どーした」と電話がかかってくる。とても不思議な事で、いつも彼には助けてもらっている。

キューピー有難う、これからも「良き友」でいてくれ！ キューピーの未来に幸あれ!!

楽 苦 我 喜

荒井 ひろ子(文) 千葉県 君津市

笑うと元気が出るよ!!

携帯メールに49会のお知らせが届く。「東京タワー!!」懐かしいわね!と友人を誘って参加する。期待したが勿論知っている人は誰もいなかった。

仕事・子育て・介護・地域のボランティア、大家族だったのが遂に夫と二人になった。夫の介護まへにはまた間がありそうだと、再び仕事のパートナーである友人の慰労を兼ねて「アイトの会」風鈴づくりに参加する。大人の遠足気分が楽しかった。

新日鉄とマザー牧場の中間辺りの里山で、週2回教室で子供たちから元気をもらっている。あとは夫の事務所で経理を担当。

8年前の3月。認知症になった義母の畑をひたすら起こしジャガイモを植えたら、ビギナーズラックで豊作だった。嬉しくて「欲」と二人ではかの野菜にも挑戦し頑張ったら、孫たちから「バーバの野菜おいしい!」と言われ、みんなに無農薬野菜を食わせてやりたいと日々無戦苦闘。フィノトウ・タケノコ・梅・柿・栗等々恵みがいっぱいだが、雑草・書虫・書鳥・インシシ・サルとの戦いでもある。

「バーバのおめとおてどうしたの?」と言われ、年齢を感じたが、白髪は人生の冠。笑うと脳が刺激され、神経ペプチドという免疫機能活性ホルモンが分泌。たった数年間だが同じ時代を過ごした人たちの話は妙に同調できる。笑うと元気が出るよ!! ハッピー!! ラッキー!! イエイ!!

ps・学生時代の武勇伝は、洋上セミナーでグアムに行った時の船上での班毎の寸劇で「浦島太郎」演じ、戸田学長から主演女優賞を貰った事。フフフ

第19回49年白門ゴルフ会

2019年
4月5日(金)

2回目の参加で優勝!! 長島 秀行(法)

以前から同期会のごときは気になっていたのですが、昨年のゴルフコンペのお誘いで、会場が比較的近いということが分かり、思い切って参加してみようかと同じクラスで友人の清水君を誘い昨年の大会から参加しております。

今年も埼玉県飯能市にある「飯能パークカントリー」に5組19名が集合、3組、2組に分かれてアウトとインからスタートしました。

ゴルフの経験は40年余りに及びますが、奇る年波にはかなわず最近では100を切るのが難しくなってきました。しかし、今回は思いがけなく調子が良く、前半が46で回れたものですが、後半は47で回れず、結局51で回りました。この結果、優勝は長島さんが初参加ということになり、優勝になりました。



参加者の皆さん(敬称略)

高木一成 南増明 山崎司平 細田邦雄
甲田隆夫 野田光昭 長島秀行 大竹力三
黒木兼一郎 清水隆敏 田中正道 斎藤栄一
石井和夫 柳澤敏男 上村朝美 長井陽一郎
日野美次郎 加藤正治 根本慎一

今後はゴルフ会以外の49年白門会の行事にも参加させていただきたい

と思います。
第20回は10月25日(金)です。



大盛會 第2回「歩こー(る)会」 3月16日(土)

歩いた後のお酒は旨い! 田中 正道(法)

午前10時に東京メトロ後楽園駅に集合した参加者は第1回の23名を上回る25名(女性4名)でした。受付で学部別に色分けした幹事の福松さん

力作の名札をいただきました。また「中央大学箱根駅伝を強くする会」の会員である吉さんから中央大学の名入りのタオルが全員にプレゼント。

中大理工学部をバックに記念撮影をしてから理工学部の校舎を見学しました。理工学部の出身の会員も40数年間の変遷振りに驚いていました。

次に「生天神」北野神社を参拝して最終目的地の小石川後樂園に向かいました。大学の近くにあるにも拘わらず初めての方が多数でした。65歳以上は割引料金で入園でき、



参加者の皆さん(敬称略)

阿部繁 荒井ひろ子 有山滋 有吉通泰
井美知子 石川晶雄 梅田真人 大谷洋一
岡部立道 木村真 小泉純子 後藤徳彌
柴田明 高木一成 高橋和幸 田中正道
中島章夫 成毛誠 根本慎一 橋本美文
藤本真也 古木進一 三橋克美
幹事・福松征男 安室澄子

多摩総合法律事務所

弁護士 橋本幸一 弁護士 露木肇子
弁護士 近藤わかな 弁護士 三井浩之

八王子市寺町30番地

☎ 042-626-9330

昼から、シャンパンなどを、
愉しみませんか
四季の移ろいを感じられるかも(笑)

増澤 繁

千葉県柏市常盤台 16-3-2
固定電話 047-161-2868
スマホ 080-3712-1125
メールアドレス kayoshige8@icloud.com



編集 後記

平成に続く 新元号は「令和」

日本の元号は7世紀の「大化」から数えて248を数える中で、出典はすべて中国古典であり、日本最古の歌集「万葉集」を典拠とした元号

4月30日に天皇陛下が退位し、5月1日に新天皇が即位して新元号の「令和」が始まりました。

本会報は平成最後の4月4日の編集会議を経て、令和元年6月8日発行になりました。

その時代の主な特徴として、「明治」は列強に並ぼうと近代的な国づくりにまい進した時代、「大正」は市民社会や大衆文化の芽生えた時

は初めてで、長い日本元号の伝統からはまさに異例とのこと。

明治以降、天皇を中心とする政治体制のもと、その代がかわるごとに改元する「世一元の制度がとられ

ました。

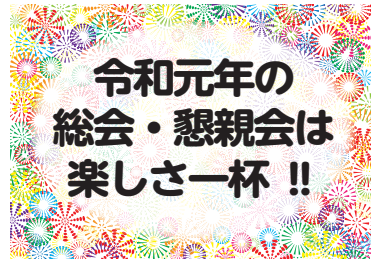
「令和」が選ばれた「明日への希望とともに、日本人一人ひとりが大きな花を咲かせる」との願いを込められた時代になることを切に期待します。

代、「昭和」は敗戦と復興、さらには高度成長の時代、「平成」は経済の停滞が続き、阪神大震災や東日本大震災など天災が相次ぎ襲った時代として挙げられています。

（福松征男）

「令和」が選ばれた「明日への希望とともに、日本人一人ひとりが大きな花を咲かせる」との願いを込められた時代になることを切に期待します。

代、「昭和」は敗戦と復興、さらには高度成長の時代、「平成」は経済の停滞が続き、阪神大震災や東日本大震災など天災が相次ぎ襲った時代として挙げられています。



令和になって初めての「49年白門会」の総会が7月6日（土）に開かれます。総会後の懇親会では恒例の「故郷のあじ自慢」のプレゼントがあります。

今回は石川県のあじ自慢を揃えました。加賀地方と能登地方の2つの地域から選りすぐった酒、和菓子、海の幸、銘酒「手取川」「加賀鳶」「天狗舞」はもちろんラインナップされています。珍味の能登牛のビーフジャーキーも嬉しいチョイス。せんべいやお饅頭も各種そろっています。加賀百万石の金沢は和菓子で有名ですが、和菓子にはお茶が必須。一番摘みの上質な茎のほうじ茶「献上加賀棒茶」もプレゼントします。土曜日のランチタイムに御茶ノ水に集まり、懐かしい友とひと時を過ごしてみませんか。会員の皆様のご出席をお待ちしております。

総会・懇親会のお知らせ

日時・令和元年7月6日（土）

12時（11時半より受付）

場所・御茶の水ホテルジュラク

孔雀の間

（東京都千代田区神田淡路町2-1-9）

懇親会・1時～3時 孔雀の間

会費は8千円です。

事業部掲示板

2019年の行事予定です。時間や集い場所等詳細は未定です。実施が決まりましたらホームページや

メールでお知らせいたします。

◎総会・懇親会 7月6日（土）

*同封された案内状をお読みください。

◎ホームカミングデー

後楽園理工学部校舎 9月29日（日）

◎新年会 令和2年1月25日（土）

「レストランプリオール」（予定）

代、「昭和」は敗戦と復興、さらには高度成長の時代、「平成」は経済の停滞が続き、阪神大震災や東日本大震災など天災が相次ぎ襲った時代として挙げられています。

「令和」が選ばれた「明日への希望とともに、日本人一人ひとりが大きな花を咲かせる」との願いを込められた時代になることを切に期待します。

●2019年度会費納入のお願い

49年白門会は皆様の会費によって運営されております。2019年度の会費を7月31日までに納めてくださるようお願いいたします。ある年度の納入を失念されていらっしゃる方も、今年度分から会費を納入していただけますと助かります。2019年度の会計年度は2019年4月1日～2020年3月31日です。年会費3,000円、入会金1,000円です。納入方法は下のいずれかをお選びください。

①郵便振替（同封の赤い枠の用紙を使えば手数料は49会が負担します）
振替口座番号 「00180-3-196081」
口座名称 「49年白門会」

②銀行振込（振込手数料が必要です）
銀行名 三菱東京UFJ銀行 調布支店 普通預金「1979382」
口座名 49年白門会 渡邊秀和
（ヨンジウキウネンハクモンカイ ワタナベ ヒデカス）

●49年白門会事務局

*住所変更、新規会員紹介の御連絡、会報への御意見などをお寄せください。

49年白門会事務局長 益田 耕二
105-0013 東京都港区浜松町1-24-5 第3河原ビル3階
サザンフラックス労務室
Tel 03-5401-7545 Fax 03-5401-0898

※メールアドレスの登録・変更は hakumon49@gakuinkai.com にご連絡ください。

株式会社 オフィス KANOH

代表取締役 **加納幹郎** ファイナンシャルプランナー
宅地建物取引士
MIKIRO KANO

【営業内容】
◇不動産活用の提案 ◇土地、建物の売買・賃貸の仲介
◇駐車場、マンション管理 ◇リフォーム工事 ◇修繕工事

〒487-0005 愛知県春日井市押沢台1丁目8番地21
TEL (0568)92-4429 FAX (0568)29-7538
携帯電話：090-3152-0253
E-mail：k-mikiro@clock.ocn.ne.jp
宅地建物取引業愛知県知事（2）第21640号



原稿募集

次号掲載の「会員からのエッセー」では「平成時代の思い出」というテーマで原稿を募集します。40歳から70歳ぐらいを過ぎた平成時代。転機、感動、事故、事件等忘れられないことを、令和になった今、30年間を振り返っての思い出を5000字前後で事務局まで送ってください。締め切りは10月末日です。

広報部からメールで依頼することもありますが、その際はご協力をお願いいたします。

募集!! この↑スペース（下段の半分）に5千円で皆様の広告を掲載し、制作費の一部にしたいと思っております。公序良俗に反しない広告を受け付けますので是非ご利用ください。